

平成25年(2013年)11月15日  
観光部信州ブランド推進室物産・信州発信班  
(室長)熊谷 晃 (担当)滝沢重人 保科宗継  
電話:026-235-7249(直通)  
026-232-0111(代表)内線3546  
FAX:026-235-7257  
E-mail brand@pref.nagano.lg.jp

# しあわせ信州シェアスペース (仮称) (信州首都圏総合活動拠点) 整備構想

平成25年11月14日 (木)  
長野県

# 1 新たな首都圏総合活動拠点の整備

2014年夏、  
東京銀座に首都圏総合活動拠点のオープンを目指します。  
この拠点は、

県、市町村、企業が連携して活用する

**オール信州活動拠点として、**

信州ファンの裾野を広げ、更に継続的かつ双方向で信州と関わりを持つ

**コアな信州ファンを増やします。**

(1)「しあわせ信州創造プラン」の重要な柱の一つ「発信」を強化

(2)現在の「東京観光情報センター」を移転し、機能を強化

- ・ 信州の優れた「コト」「ヒト」「モノ」をトータルに発信します。
- ・ 人と人との交流を通じて、強固な関係性を築きます。
- ・ 「信州」に関する信州・首都圏双方のビジネスの拠点とします。

(3)設置場所は「東京銀座」、時は「今」

- ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定で世界の注目が集まる東京、中でも国内外の情報とブランドが集まり、再び発信される「銀座」が最適  
東京という窓を通じて「NAGANO」を世界へ
- ・ 2015年3月、北陸新幹線金沢延伸により広がる首都圏マーケットの可能性を  
長野県内全域に呼び込む。

## 2 なぜ今なのか

- (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定
- (2) 2015年3月北陸新幹線(長野経由)金沢延伸
- (3) 地域間競争に勝ち抜く
- (4) 「物」から「心」への価値観の変化

- (1) 東京オリンピック・パラリンピックの開催決定により、今後、世界に向けたハブ機能が更に高まります。
- (2) 2015年3月、北陸新幹線(長野経由)金沢延伸により広がる首都圏マーケットの可能性を長野県内全域に呼び込むための拠点です。なお、沿線県で「アンテナショップ」を開設していないのは、長野県だけです。
- (3) 「物」の豊かさから「心」の豊かさへと価値観が変化する中、信州のライフスタイルに注目が集まっています。
- (4) 地価の上昇と参入者の増加等により、今後益々厳しくなることが予想される首都圏の不動産環境の中で最適な物件と出会うことができました。

### 3 コンセプト

「フェア」ではなく、「シェア」  
「伝える」だけでなく、「つながる」  
「観光地」ではなく、「関係地」



一方的な長野の紹介ではなく、信州との関係性を  
創ってもらう拠点となること。

#### (1)「シェア」とは

→ 単なるスペースの共有ではなく、首都圏に居ながら信州の暮らしをまるごと共有することにより、新たな価値や可能性を生み出していきたいという思いが込められています。

#### (2)この拠点のテーマは「美しさと健康」です。

→ この拠点で販売する商品や紹介するライフスタイル、食文化はいずれも信州の「美しさと健康」を育んだ風土を語るものです。

# 4 コンセプト実現のための戦略

項目	これまで	これから
ターゲット	個人消費者	興味や価値観を共有する 集団
顧客との関係性	一過性	長期的、継続的
コミュニケーションの 方向	一方通行	双方向
キャンペーンの効果	商品の売上	長野県のコト、ヒト、モノ への信頼
ブランドの対象	商品そのもの	商品が生まれてくる背景

# 5 名称

～ 信州の美しく健康なライフスタイルをまるごとシェアする ～

## 「しあわせ信州シェアスペース(仮称)」

### NAGANO BRAND SHOP & SPACE

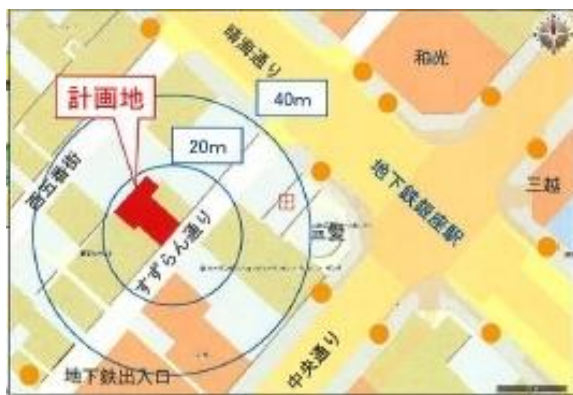
#### ○ 正式決定は

→ 今後、更に幅広いご意見をお伺いしながら、決定していく予定です。



# 6 賃借予定建物の概要

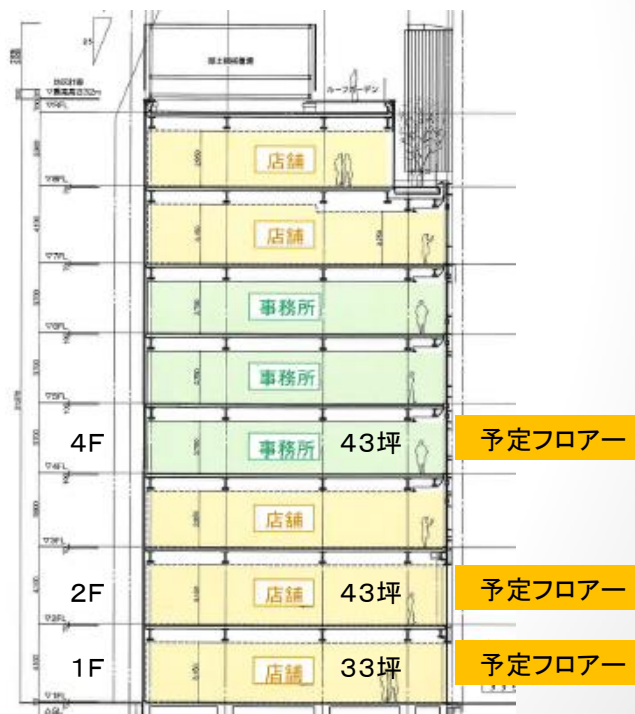
所在地 東京都中央区銀座5丁目 すずらん通り  
ビルの名称 すずらん銀座5丁目ビル(仮称)  
8階建:延床面積1,286㎡  
(うち長野県の賃借面積394㎡)  
建物竣工 平成26年3月末



※ 拡大図は次頁のとおりです。

## 【当ビルのコンセプト】

- ・ 素材を大切に考えた場所、物
- ・ 質(考え方)の高いものが集まる所
- ・ 人が集まるワクワク感
- ・ 銀座にないもの、あったらいいもの



# 拠点予定地 位置図（拡大図）





# 7 拠点のポイント

- (1) 信州のコト、ヒト、モノをトータルに発信し、  
強固なつながりを創ります。  
単なる物産館ではありません。
- (2) 各フロアの機能を有機的につなげます。
  - ・リビング機能：信州の健康な暮らしを体感していただく空間
  - ・キッチン&イベント機能：信州の生活と仕事を学ぶ空間
  - ・コワーキングスペース：新たなビジネスが生まれる空間
- (3) IT端末や映像を活用して、よりリアリティーのある発信機能を充実します。
- (4) 外国語による対応も充実します。
- (5) 全館を若者のインターンシップの場として活用します。

# 8 拠点イメージ（1階）

「信州の健康な暮らし」を体感するリビングスペース

くつろいだ雰囲気の中で、信州の暮らしを体感し、生産者や製作者との交流を通して、買う楽しみを味わいながら、長野県への来訪や食材の購入に結び付けます。



## (1) 信州を体感してもらう工夫

- ・ 信州のライフスタイルをテーマとした企画展(月毎)の開催
- ・ 生産者や製作者によるトークライブの開催
- ・ 消費者のニーズ調査の実施(チャレンジャーズコーナーを設置)

## (2) 商品の考え方

- ・ 厳選された信州の代表ブランド
- ・ 信州にしかない(ならではの)商品
- ・ 信州の定番商品



## (3) 商品の配置、販売の工夫

- ・ 扱う商品やディスプレイに関する有識者からのアドバイス
- ・ 拠点を足場とした外商や宅配、インターネット販売の導入 など

## 9 拠点イメージ（2階①）

### 「キッチン&イベントスペース」

これまでの都道府県アンテナショップにはない、  
オープン型キッチンを備えたイベントスペースです。  
料理教室などを通して、信州の食文化を体感して  
いただき、健康を育んだ信州の農畜産物をアピールします。  
イベントスペースは、移住や購入につなげる強固な関係性を  
築く場です。



#### (1) キッチン

- ・ 都会の人の日常に提案する“信州長寿食”の料理教室
- ・ おいしい信州ふード(風土)を活用したレクチャーや調理実演
- ・ 信州ホームパーティー、シェアキッチン(予約制)での使用 など



#### (2) イベントやセミナー

- ・ 「信州銀座すずらん通り大学」(仮称)の開催
- ・ しあわせ信州移住フェア、市町村出身者交流会
- ・ 親子自然体験クラス、ワインセミナー、信州健康講座
- ・ 長野県関係のスポーツチームの試合を映像観戦 など

# 10 拠点イメージ（2階②）

## 「観光PR」「移住交流・就職相談」スペース

信州の山荘をイメージするたたずまいの中で、  
都会の皆様“夢と憧れ”の実現をサポートいたします。  
リビング、キッチン、セミナーと連動して、全ての機能が  
観光PRや移住相談に結びつきます。

### (1) 観光案内

- ・ 観光サポーターがおもてなしの心で対応します。
- ・ 観光に関する、書籍や映像など豊富なコンテンツを用意します。
- ・ 市町村の皆さんはこのフロアで、観光PRや商談ができます。
- ・ 長野県への修学旅行の事前学習にも利用できます。



### (2) 移住交流・就職相談

- ・ 実際に移住した人を交えての移住セミナーが開催できます。
- ・ ハローワークデスクも併設し、職業紹介を迅速に行います。
- ・ 大学生等を対象とした「企業就職相談」も開催できます。



# 11 拠点イメージ（4階）

## 「コワーキングスペース」（共働利用オフィス）

都道府県アンテナショップでは日本初の、

長野県民、首都圏住民双方が集うオフィスを設けます。

「信州」に関心のある人々が集まって、

信州と首都圏を元気にするビジネスを生み出します。



### (1) 共働利用オフィス

- アイデアやネットワークを持った人々が集まります。
- テーマを決めて、ビジネスマッチングの可能性を高める工夫もします。
- 信州のビジネスに関係する企業・個人の利用を原則とし、一定の利用料をいただきます。



### (2) その他の機能

- 農政、商工、観光機能が集まった**営業本部の機能**も発揮します。

# 12 想定される活用例

## 健康(スポーツ)

- ・ サッカー等、信州にゆかりのあるチームの試合の**パブリックビューイング**
- ・ アウトドアスポーツ用品メーカー等と連動した「**山の安全講習会**」
- ・ **長野五輪メダリスト**等による講演会を開催し、東京五輪決定を機運とした**信州ファンづくり** 等



## 信州の美しさの発信

- ・ ひたむきに努力するものづくりの技の**再現(職人技との触れ合い)**
- ・ 豊かな自然や農山村の原風景、まち並みの美しさなどを映像で再現
- ・ 全国最多を誇る博物館、美術館を居ながらにして体感(学芸員による作品紹介、グッズ販売など) 等



## 健康(「食」)

長野日本一の恵み  
おいしい信州ふード(風土)  
-プレミアム・オリーブ・オイル-



- ・ 長野県の有識者による「食」をテーマにした**健康講演会**を開催し、**健康長寿日本一**を発信
- ・ 「おいしい信州ふード(風土)」を活用した**料理教室**の開催
- ・ 長野ワインの素晴らしさを体感する**ワインセミナー**の開催 等

## 外国人への対応

- ・ 観光PRコーナーに、**英語、中国語**に対応した職員を配置
- ・ 拠点のホームページは、**多言語**で海外へ情報発信



## 若者等とのコラボ、就業支援

- ・ 「**信州若者1000人会議**」など、若者と連携し、活躍する機会を提供
- ・ 「道の駅」、「里の駅」の発信の場の提供
- ・ 長野県への**修学旅行の事前学習**にも利用 等



# 13 運営体制及び経費等

設置主体：長野県

運営主体：

県観光協会 1階（リビングスペース）

2階（キッチン、観光PR）

長野県 2階（イベントスペース、移住交流・就職相談）

4階（コワーキングスペース）

○初期費用（うち平成25年度分）：1.4億円

【内訳】保証料（12か月分）

本体追加工事費、内装設計費 等

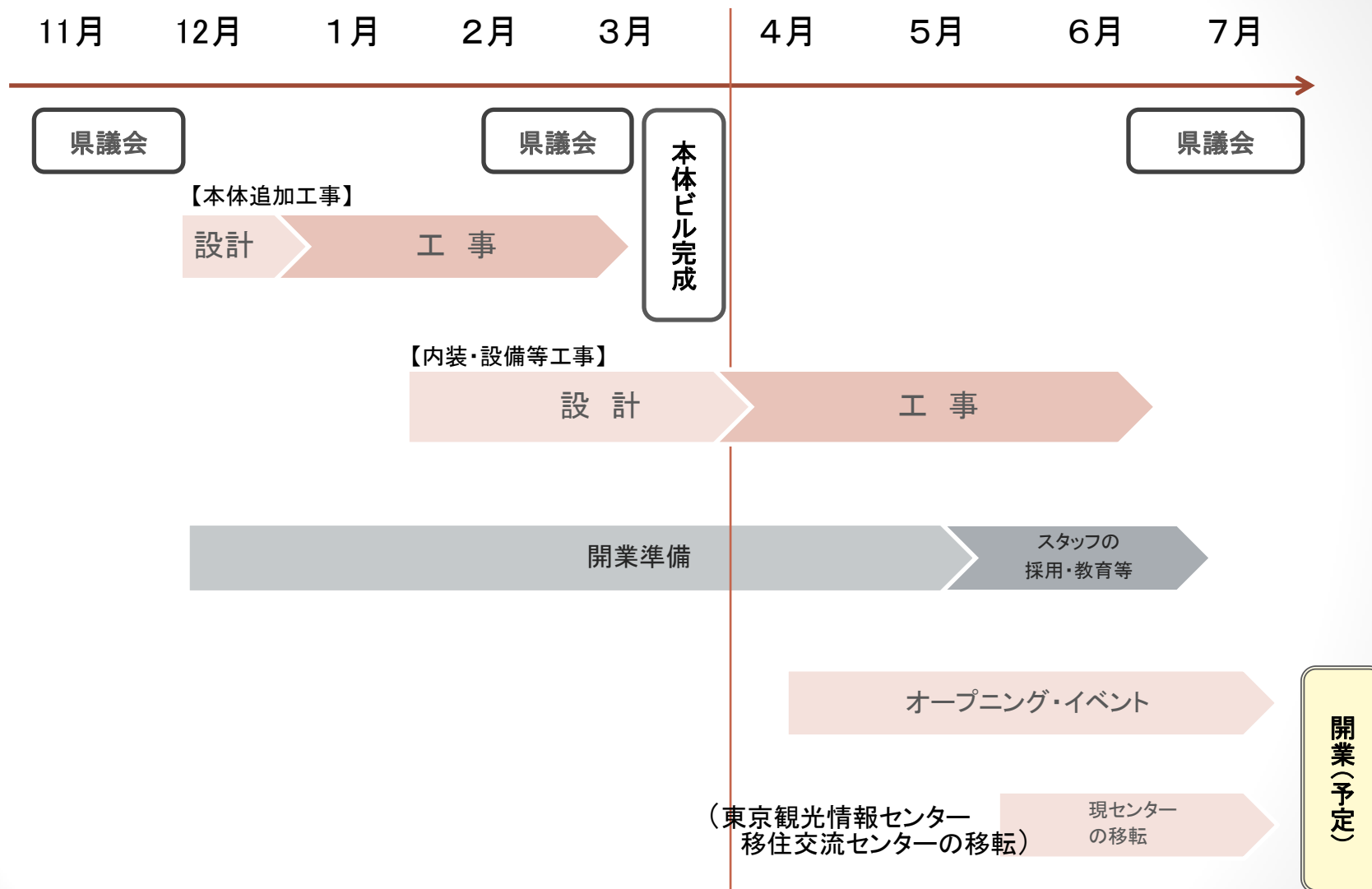
○運営費（平年ベース）：1.3億円

【内訳】賃料

運営委託料 等

※ 収益部門は、観光協会の自主事業として運営。

# 14 今後のスケジュール





## 【参考】これまでの主な検討経過

- ・ 平成24年5月14日 **第3回県と市町村との協議の場**  
「ワーキンググループにより検討を加える。」と決定
- ・ 平成24年11月6日 **第4回県と市町村との協議の場(中間報告)**  
「設置する方向で、更に検討を加える。」との決定
- ・ 平成25年3～6月 **首都圏における総合発信拠点検討会議(3回開催)**
- ・ 平成25年5月20日 **第5回県と市町村との協議の場**  
「専門家や外部コンサルタントによる検討を加える。」旨了承。
- ・ 平成25年7月23日 **知事・副知事・関係部長会議**  
「総合活動拠点整備方針」を決定
- ・ 平成25年10月2日 **第1回信州首都圏総合活動拠点整備推進会議**  
「設置場所は銀座が妥当」との結論
- ・ 平成25年11月15日 **部局長会議**  
「平成25年度11月補正予算案」を決定